



# 瑞穂の四季

発行：三木市高齢者大学大学院自治会  
発行責任者：自治会会長 立石 勲  
編集委員：板東和己 勝丸桂二郎  
発行日：平成30年9月11日  
自治会便り 第43号

## 2学期を迎えて

「スーパー猛暑」の言葉どおり特別に暑かった今年の夏も過ぎ、勉学、スポーツに好季節の2学期が始まりました。

10月初めには体育祭があり、中旬には郡上八幡への1泊研修旅行、下旬には館外研修で高野山金剛峰寺を訪れます。11月には現在放送中のNHK大河ドラマ「西郷（せご）どん」の主人公「西郷隆盛」の子孫が、祖父である西郷隆盛を語る公開講座が予定されています。さらに、仲田一彦三木市長の講演もあり、歴史・健康・経済など多彩な内容の教養講座が展開されます。

地域活動講座では1学期末にグループ編成が決まりました。福祉・観光・歴史・環境の4つの分野に分かれ、本格的な活動が始まります。計画・実践・振り返り・必要に応じた計画の変更・実践というサイクルによる自立的な共同活動が大学院らしい活動です。

卒業後に地域でも活動できる実践力の育成を目指します。

残暑の残る9月から、勉学の秋、そして寒さが厳しくなる12月末までと、大きな季節の変化の中で充実した学習を進めていきたいと考えています。

教務副主任 橋田 和典

### 館外講座

### 六甲山ビジターセンター



梅雨の晴れ間から覗いた太陽がひととき眩しく感じる中、登山道路に入ると雨に洗われた鮮やかな新緑、今を盛りと咲き誇る色とりどりの紫陽花が私たちを迎えてくれました。

六甲山は瀬戸内海に面しているが、北方から南方まで生育する1700~1800種の植物が見られると窪田博行先生から説明がありました。

六甲山ビジターセンターに到着すると3人の「山の案内人」が待って下さって居り、3班に分かれて山の中の観察路で説明を受けました。今まで何気なく眺めていた草木が説明を受けることで見るから観るに変わり、触覚・味覚・嗅覚まで感じ取りました。この3現(現場・現物・現実)学習が館外講座の魅力だと実感しました。

昼食を終え、案内人の方々との交流会で意見交換。今日のテーマである六甲山の植物から飛躍し、マムシやイノシシの動物に至るまで活発な質問が飛び交いました。植物学会では名称をカタカナ表示に統一することになっていますが、説明を受けた植物の中でアセビは「馬」が葉を食べれば毒に当たり「酔うが如くふらつくようになる「木」【馬酔木】と書き、リョウブは昔飢饉のとき救荒植物として育てることを法で定められていたので【令法】と書くなど、山の案内人、松本さんは語源にロマンを求めているように語られていたのが印象的でした。交流会が終わる頃、天気が急変し、雲が強風によって沸き上がり、背中を押されるように六甲山頂を後にしました。

1年 石田 仁志

## 地域活動講座

### 環境美化グループ

- ◇ 入会金 500 円 年会費 500 円 会員数 10 名。
- ◇ 目的：年間 12 回を目標に、文化会館駐車場の除草清掃活動を行います。  
三木市から市民活動支援金事業の認定を受け、長期に実施します。
- ◇ 活動日は 9 月から 2 月まで月 2 回。大学院登校日の 15:30～16:30 です。
- ◇ 集合場所：文化会館駐車場。降雨の場合は翌週に順延予定。



### 三木城・城下町再現模型を作る会

三木城・城下町をジオラマで生き返らせることにより、三木の歴史や技術をアピールし、その良さを知って貰う。

目的：三木城跡整備計画に協力。ジオラマで三木の再発見。地域の活性化に貢献する。

活動方針：完成後は常設展示し、移動展示も行い、町おこしをめざす。

計画：平成 30 年 12 月。築城時、別所長治切腹時廃城前の 3 代の城郭モデルを完成。

平成 32 年 2 月。1615 年廃城前の三木城・城下町完成

活動場所：高大の木工室 or 理科室 活動内容：メンバー 10 人。

毎週金曜日 13:00～16:40。



他のグループは  
順次紹介します。

## ボランティア活動

8/18 (土)

特別養護老人ホーム「しゅうらく苑」の夏祭りでは院生 11 名がボランティアとして参加。暑さ厳しい中、おでん・アイスクリームなどのお手伝いをしてお祭りの盛り上げに汗を流しました。



8/21 (火)～22 (水)

まなびの郷みずほ交流キャンプは、71 名の参加でした。地元の小中学生の子どもたちを見るにつけ我々も元気づけられます。料理教室、染物教室、絵画教室、科学教室などに 24 名高大生・院生が参加し、クッククラブや写真クラブの撮影など子供たちの夏休みの思い出作りになったようです。

